



ZEV (Zero Emission Vehicle)

Monthly Japan Market Report



2022年4月

はじめに

2022年3月_ZEV Market Report

日本国内における電動化・ZEVトレンドを月次でまとめた資料です。

本レポートについて

背景・目的

- 2015年、TeslaのModel Xがアメリカで発売された以降、グローバルでは早いスピードで車両の電動化が進んでいる
- 一方、日本市場では国内・海外メーカーの商品投入から政府の関連法規制度が次々と発表されており、グローバルと比べては遅れているが、確実に産業・市場は電動化の方向を向いている
- 本レポートは、このような国内の電動化トレンド毎月単位でまとめ、**各関連企業様から産業・市場変化により対応すべき戦略・運営についてのインサイト・情報を提供のを目的とする**

コンテンツ

- 国内ZEV市場動向：毎月の販売台数、主なトレンドのまとめ
 - 政策・インフラ
 - 新車
 - 業界

単語解説

- **ZEV**: Zero Emission Vehicleの略字で、ガスが排出されない車両を意味する。主には電気自動車(EV)と水素燃料自動車(FCV)を含む。

レポート作成

- 三菱UFJリサーチ&コンサルティング、戦略コンサルティング部

2022年3月のまとめ

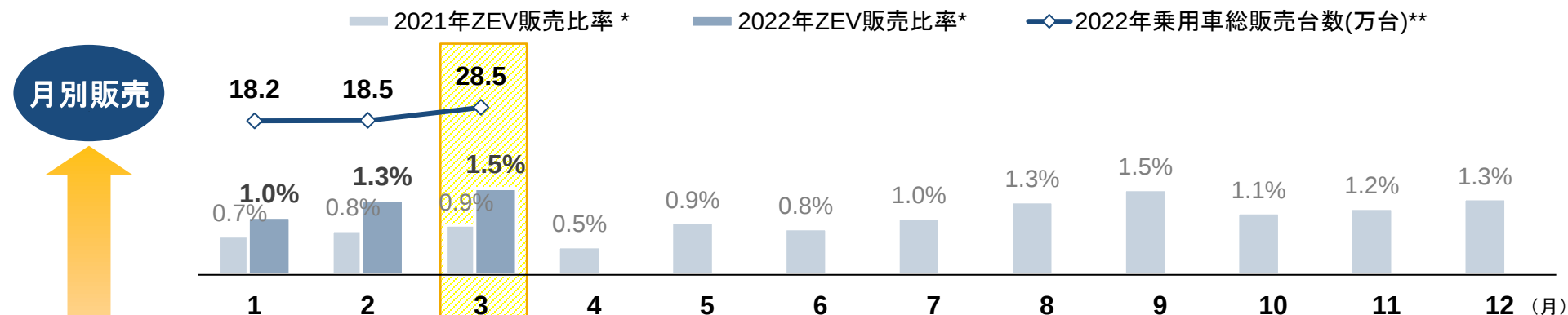
2022年3月_ZEV Market Report

年度末の全体販売台数増加以上にZEV販売比率が成長しました。

国内ZEV市場動向

*乗用車の販売台数対比率

**ZEV=EV+FCV



政策・インフラ

■ ZEVにおける補助金引上げ

- 電気自動車は既存20万円から最大55万円まで引き上げ

新車

■ Volvo: 新グレードのEVを発表

- エントリーSUVのXC40及び中型SUVの間にポジショニング
- 500万円台・EVの競争が今後激化

業界

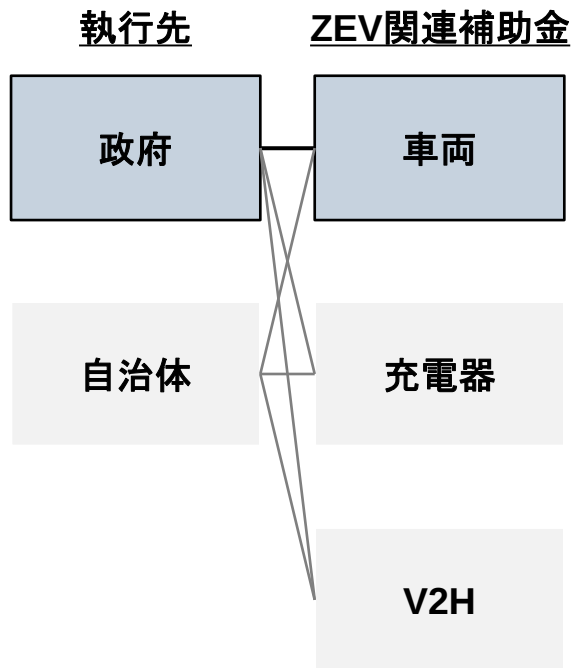
■ トヨタが推進するスマートシティを起点に水素エネルギーの活用拡大

- Woven Cityでの水素エネルギー活用について、2021年に続いて、詳細合意内容を発表

(出所) MURC Analysis, 販売データは日本自動車販売協会連合会(JADA)を引用しMURCで作成

ZEVにおける補助金引上げにより、市場の追い風になると判断されます。

ZEVにおける新補助金制度



- 補助金は政府及び各自治体から各自支給
- 自治体毎に補助金額は異なる

2022年度からの新しい補助金制度

燃料タイプ	体表車種例	2021年度	2022年度	
		ベース	ベース	条件付き*
軽EV	FOMM・FOMM ONEなど	20万円	45万円	55万円
EV	日産・リーフなど	40万円	65万円	85万円
PHEV	トヨタ・プリウスPHV	20万円	45万円	55万円
FCV	トヨタ・ミライなど	225万円	230万円	255万円

*外部給電機能対応、1,500W車載コンセント装備

- 2022年3月31日から受け付け、補助金対象は2021年11月26日以降に登録した車両を対象

新車

2022年3月_ZEV Market Report

Volvoは新グレードのEVを発表、500万円台・EVの競争が今後激化されると思われます。

VOLVOの新EVグレード概要及び価格戦略

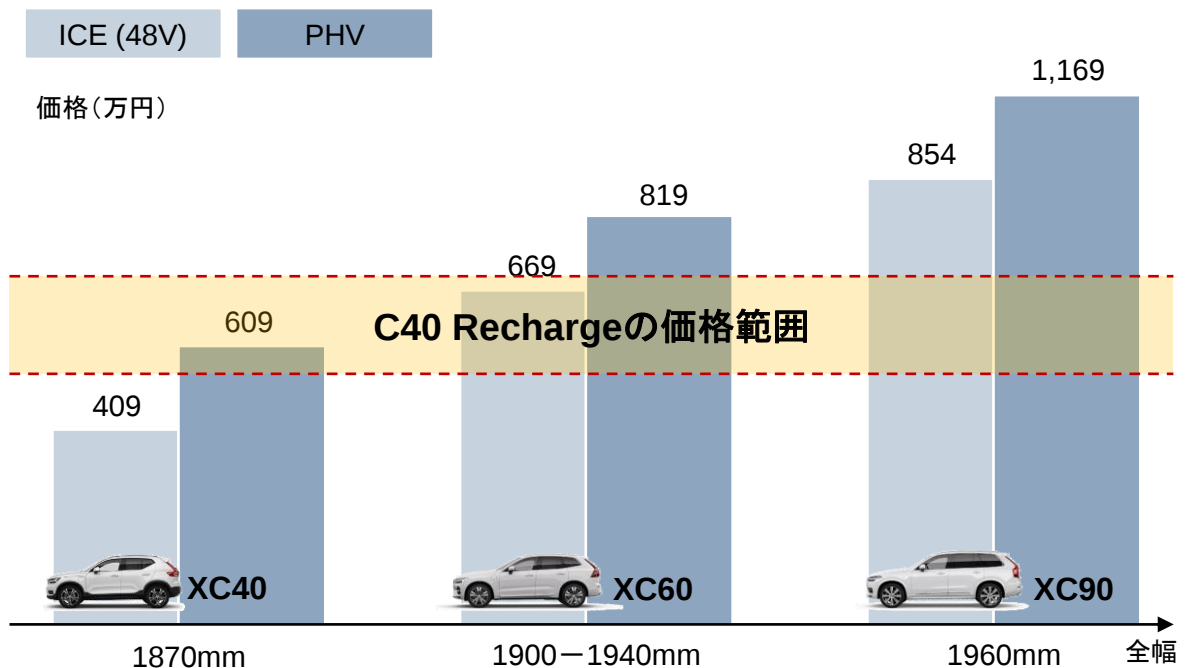
VOLVO C40 Recharge



C40 Recharge Ultimate Twin Motor	C40 Recharge Plus Single Motor
最高出力300kW 最大トルク660Nm	最高出力170kW 最大トルク330Nm
78kW	69kW
6,990,000円	5,990,000円
2021年11月発売際の 719万円から引き下げ	2022年3月にエントリー 級の新グレード導入

(出所) MURC Analysis、VOLVO公式HP、公開情報

VOLVO SUVラインナップ別ポジショニング



・エントリーSUVのXC40及び中型SUVの間にポジショニング → ファーストカー顧客及び買替顧客をターゲット(20-40台の若年層推測)

トヨタが推進するスマートシティを起点に水素エネルギーの活用拡大が予想されます。

水素エネルギーにおけるトヨタとENEOSの連携

トヨタとENEOSの水素関連共同動き

- '14 ● トヨタが初代のミライを発売
- '15 ● HySUT設立(経産省、自動車OEM及びJXTG・岩谷など参加、水素ステーション普及事業展開)
- '18 ● JHyM設立(HySUTの事業スキームを継承)
- '20 ● ミライ2世代発売
- '21 ● ENEOSとトヨタで、Woven Cityにおける水素エネルギー利活用の具体的な検討を開始
- '22 ● ENEOSとトヨタで、Woven Cityを起点としたCO₂フリー水素の製造と利用を推進を発表

(出所) MURC Analysis、トヨタ公式HP、公開資料

発表の主な内容

- 1 ● Woven City隣接地に水素ステーションを建設
- 3 ● Woven CityのコミュニティエネルギーマネジメントシステムとENEOSの水素製造を最適化する水素EMSの連携を検討



出所:トヨタ自動車(株)2022年3月23日「ENEOS、トヨタ、ウーブン・プラネット、Woven Cityを起点としたCO₂フリー水素の製造と利用を共同で推進〜カーボンニュートラル実現に向けた先進的な取り組みを加速〜」(<https://global.toyota.jp/newsroom/corporate/36977308.html>)

- 2 ● 再生可能エネルギーでCO₂フリー水素を製造する水電解装置を設置
- 製造した水素を様々なFCEVに供給+パイプラインでWoven Cityに供給
- 水素ステーション内に停電時用のFC発電機を設置

ご利用に際して

- 本資料は、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません
- また、本資料は、作成者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一的な見解を示すものではありません
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず、出所:三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡下さい

本資料に関する問い合わせ先:

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社

コンサルティング事業本部 コンサルティング業務企画部 下記HPよりお問い合わせください

<https://www.murc.jp/inquiry/>

お問い合わせ

- コンサルティングのご依頼、ご相談の際は、以下のボタンをクリックください
- お問い合わせページに移動しますので、必要事項を記入ください

お問い合わせ

QRコードはこちら ▶



URLはこちら ▶ <https://reg18.smp.ne.jp/regist/is?SMPFORM=nekf-ldkgpe-1648b29f41f462760deaae4cdc248144>

シンクタンク・コンサルティングファームとしての知見発信

当社所属のコンサルタントによる最近の出版物(抜粋)



当社コンサルタントが出演したテレビ番組(2021年冬)

BSテレビ東京 特別番組
「日本はこうなる!?～2022年を生き抜くビジネス戦略～」



出所及び動画URL: <https://www.bs-tvtokyo.co.jp/nihonkounaru/>

関連レポート

[自動車産業を取り巻くカーボンニュートラル対応の動向 2022/01/18 石倉 拓史](#)

コンサルティング・
レポートはこちら

URL https://www.murc.jp/report/rc/report/consulting_report/



さまざまな業種・業態の企業のお客様のために、
経営課題の解決や経営戦略の立案に
役立つレポートを掲載しています

三菱UFJリサーチ&コンサルティング
戦略コンサルティング部